

No.創出-共-2	土壌の透水・通気性確保
-----------	-------------

### 技術の目的

植栽の基盤となる土壌の透水性、通気性を確保することで樹木の健全な生育を促すとともに、雨水の浸透機能の向上を図る。

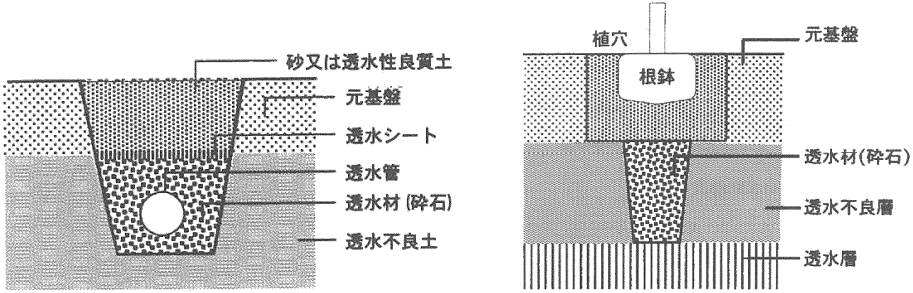
導入する局面	創出	維持管理	利活用
適用空間	水域		陸域

### 技術の内容・事例

#### ■技術の内容

1. 土壌内の透水性の確保<sup>出典1</sup>
  - ・ 植栽基盤の透水性が悪く土中にしみ込んだ水が根系の発育する層（有効土層）で滞ると、降雨の際などに根腐れ（土中の透水・通気性の悪化により根が呼吸できなくなる）が発生、枯死に繋がる可能性がある。

種別	細別	内容
排水工 (排水層工)	暗渠排水	植栽基盤下部に中空の管などを設置し、これにより地中水を排水する方法（芝生広場等の広い面積の地下水及び表面処理排水に適用）
	縦穴排水	植栽基盤の不透水層がある植栽樹木の周辺部若しくは植穴下部に縦穴を掘り、その中に管や砂などを投入し、透水性及び通気性の改善を図る方法



2. 土壌内の通気性の確保<sup>出典1</sup>
  - ・ 土質などの条件により通気性の確保が難しい場合の対策として、通気管の設置による対応策がある。

種別	細別	内容
通気工	空気管（通気管）設置	植穴下層から表層へ空気管（通気管）を設置し、根腐れなどを防止する方法

3. 街路樹・広場など植栽樹の改善工法（グリーントレンチ）<sup>出典2</sup>

- ・ 土壌への雨水貯留・雨水浸透と、樹木の活性化を考慮した通気・透水管を敷設した植栽基盤の緑地（グリーントレンチ）の工法を示す。

